

経営比較分析表（令和元年度決算）

佐賀県 吉野ヶ里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	0.35	3,680	

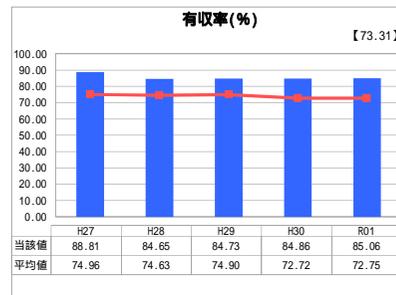
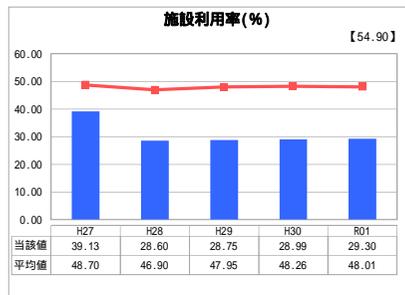
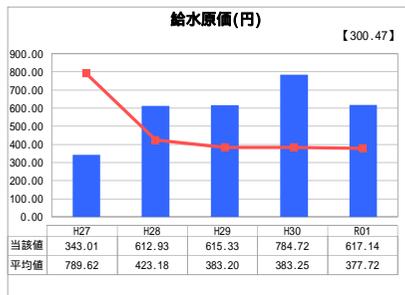
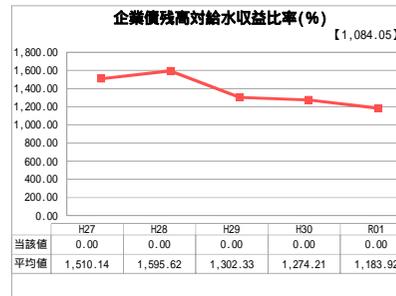
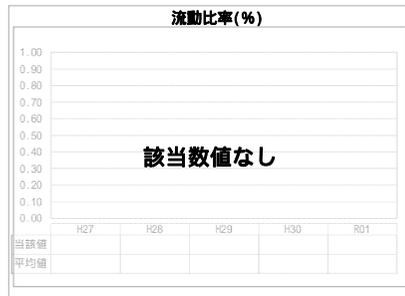
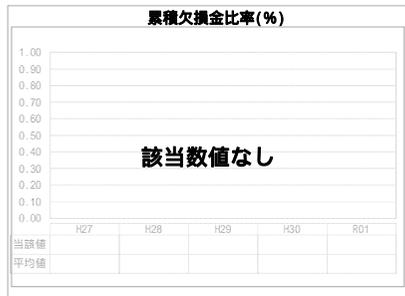
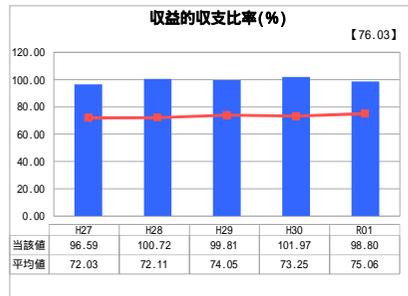
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,187	43.99	367.97
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
56	0.21	266.67

グラフ凡例

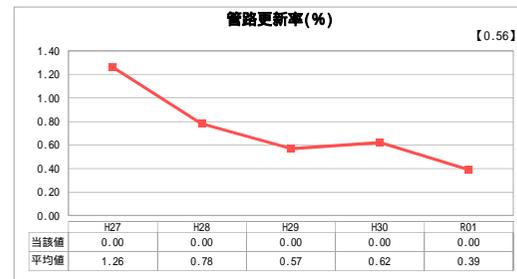
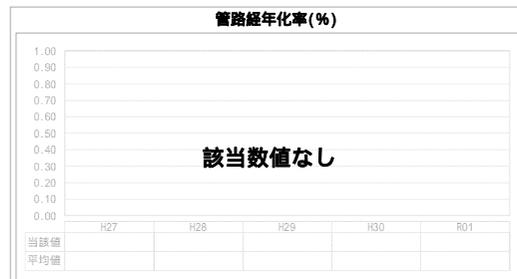
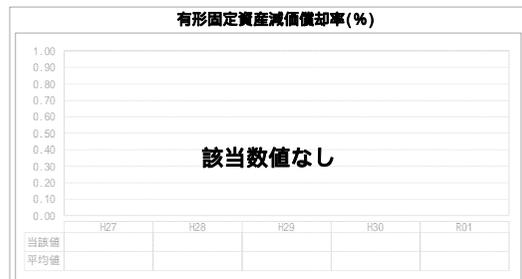
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・収益的収支比率は100%前後の数値で推移している。今後、老朽化等による施設等の改修も見込まれるため健全経営に努める必要がある。

・料金回収率は30%程度で推移しており、給水収益以外の収入（繰入金）で賄われている状況である。

・料金回収率の増及び給水原価の減については、修繕費が減少したことが要因と考えられる。

・給水原価については給水人口の減少により、近年平均よりも高い値で推移している。

・施設利用率については人口減少に伴い、計画給水人口に対する実給水人口の割合が低くなっていることから近年平均よりも低い値で推移している。

2. 老朽化の状況について

・簡易水道事業を開始して37年が経過している。これまで道路改良に伴う本管の一部改修、取水口の改修は行ったものの、老朽化による改修は行っていない。今後、大規模な改修が必要となることも見込まれる。

全体総括

・管路更新については管路更新計画を作成し、計画的な改修を行う必要がある。

・簡易水道事業の安定運営、事業継続のため経費削減に努めるとともに、必要に応じて水道料金の見直しを検討する必要がある。